

戀ころも、ゆるしの手とり、
花ねぶる、夢のしづくの
ゆたげなる、野花のまこゝろ。

高照す、靈のかがやき、
野の造り、そらにかへりて
うま人の車駕のわたち

まろらかに轉ずるさまや。
新婦の別る、とさめて

見の眼、おどろかす秋、
ゆふ雲の落の木の葉の
うづみたる、かしら霜白。

嬾へよき、つるの節くれ、

琴を野に、ほこり絡みや、
絃きれしにがきしづくの
くちびるに觸れしは知らず。
さびしみの満つる曇り日、
をりをりの光、若えの
生命さへ沈みはてつつ
胸の氣のむなじや、空洞。

屍しかばねか、あらしもろ手の
力なき、まひるのさぐり、
白しろけたる深野ふか、おどろの
草髪をわけてさとしの
春の罪、ありやと見れど、
大み慈悲ひ、闇くらのともし火、
照しなく、永久とこのおひめに

わりなしや、五つの睡者。

命木幻花をほり

製複許不

刷印日三月八年八十三治明
行發日十月八年八十三治明

發行所	發行所	印者	發行者	發行者	著者	著者
東京市日本橋區松島町二十九番地	東京市麻布區永坂町五十一番地	東京市神田區表神保町二番地	東京市日本橋區松島町二十九番地	東京市麻布區永坂町五十一番地	清水橘	正富汪
光世堂	旭堂	三島字一	谷澤光	草川榮太		
		郎	吉	郎	村	洋

(錢五廿金價定)





